

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム敬愛苑

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和5年7月27日

開催場所…ポートピア松江ビル4F会議室

出席者

事業所	3人	利用者	0人
利用者家族	1人	地域代表者	4人
松江市職員	1人	包括支援センター	0人
知見を有する者	0人	その他(防災センター)	0人

会議次第

1. 挨拶

- ・西浦常務取締役より挨拶。三年ぶりの開催となり、この間に苑長の中村が退職となったことを報告。
- ・家族様へ感染対策としての長期にわたる面会、外出の制限等について、ご理解とご協力を頂けたことに感謝の意を表明した。
- ・1月に敬愛苑 GH 内でクラスターが発生したことを報告。クラスター終息後も利用者様の元気な様子が見られていることが不幸中の幸いだったと当時の経過状況を報告。
- ・関係者の皆様へご心配をおかけしたことをお詫びし、対応に当たる職員へ多大なるご配慮をいただいたことに感謝します。

2. 出席者自己紹介

3. 議事概要

- (1) 現在のサービス提供状況の説明
- (2) 行事報告・日々の活動報告
- (3) その他(面会・外出方法の変更について)(コロナ禍3年間の歩み)

意見交換

敬愛苑 敬愛苑ではコロナ禍においても日々の活動や季節ごとの行事は出来る限り行ってきた。(花見、笹巻作りや七夕、利用者様と一緒にいる調理活動等) 敬老会も家族様やボランティアさんに参加して頂けない代わりに、職員による催し物を考え楽しんで頂けるような出し物を披露した。

日々の活動報告として掲載させていただいているのは、コロナ禍で外出などが制限される中でも、これまで通りのように何か活動ができることはないかと職員同士で相談し取り入れたものである。

果物狩りに行けないため、フルーツを買ってきて、苑で利用者様と作成した紙製の樹木に括り付けて、果物狩りのようなレクリエーション活動を行った。

外食が出来ないため、ラウンジで食事や夜会等を定期的に開催した。

大きな行事では、普段袖を通さない、余所行きの衣装を家族様に依頼し持参して頂き、苑内でファッションショーを開催した。

地域 A ボランティアの受け入れは再開しているのか？コロナ禍になる前は年二回こらせていただいていた。

敬愛苑 ボランティアは現状受け入れておらず、周辺の感染状況の様子を見させていただいている。活動を行いたいと言ってくださるところも増えてきているので、苑としては今後受け入れたいと思っている。

地域 B 施設でコロナ感染が起きるのは、無症状の関係者がウィルスを持ち込むことが原因だと思う。体調チェックシートなどで、関係者の家族含めてチェックリストを作成し、健康状態を家族単位で把握していくことで、無症状の感染者来苑を防ぐことができると思う。苑でのチェックシートにはどのようなことが書いてあるのか。

敬愛苑 苑でのチェックシートには、2週間以内に発症者または疑わしい症状のある人と一緒にいた、37.5℃以上である、風邪症状（だるさ、のどの痛み、せき、たん、くしゃみ）があるか、をチェックしていただいている。

五類移行に伴い、頻繁に面会に来られる家族様については、感染対策についても周知して頂いていると判断し、面会時は体温チェックのみ行っている。

一か月以上面会のない家族様の場合は、都度体調チェックシートに記入して頂いてから面会を行っている。

面会について話が出たので、苑での面会・外出方法の現状と、今後8月1日より適応となる変更後の規定について記載した用紙があるので、確認して頂く。（会議時配付）

並行して、コロナ禍に突入してからの苑での取り組みの遍歴について説明させていただく。

まず、コロナ禍初年度は、マスク着用、手指消毒、利用者様間のパーティションの設置、職員の家族を含めた健康チェックを開始した。面会、外出行事、ボランティアに来て頂くことは中止した。

令和3年より、面会を再開。アクリル板越しを条件とした。県外者向けにテレビ面会の導入。インスタグラムにて苑内の行事や雰囲気発信開始した。

Air ドッグ、業務用大型空気清浄機を導入した。感染対策用に、各居室間の空気の流れを抑制するフィルムを増設。緊急時にフィルムを展開した。

令和4年より苑内で取り組む新しい行事に取り組んだ。先ほど見て頂いた写真などを参照してほしい。屋外での行事には、人が密集していなければ感染対策を行って参加する運びとなり、人込みから少し離れたところからどう行列観覧を行った。

また、山陰中央専門大学校、湖南中学生の受け入れを再開した。生徒たちにも、職員同様の健康チェックを行ってもらい、少しでも体調不安のある場合は休んで頂く指導の下、受け入れた。

令和5年1月4日新型コロナウイルス感染者、施設内で発覚。クラスター

となり利用者様15名が感染する。1月23日に隔離終了となる。職員も徹底した感染対策をもって臨んだつもりだったが、感染拡大を止められなかった。

クラスター発生中から保健所や医師に相談、助言を仰ぎ、実際の現場や感染対策を見て頂き、見直しを行った。

他施設の面会状況はどのようなものか、教えてほしい。

松江市 殆どの施設において、段階的に面会は再開されてきている。5月以降は直接面会者が居室まで入れるところも多い。グループホームは特に感染症対策が大変だと認識している。クラスターが発生した施設であるなら、なおさら慎重にならざるを得ないのは理解できる。対応に当たった職員さんたちのご苦労は相当なものであったと思う。再び山陰でクラスターが出てきだしているの、ボランティアさんの受け入れ等についても、階段を上ったり下りたりするように、状況次第で決まったことが中止になったり再開したりすることになるのは仕方ない。

家 族 母親が入居して3年になる。最初は後ろめたい気持ちもあったが、施設に預けることで新しい介護の仕方、関わり方があることを知ることができた。どのようなことを母にしてあげることができるのかを日々考えている。

敬愛苑は早い段階で面会方法を考え、面会再開してくれたように思う。

コロナについては、どこでだれが持ってくるかわからないところもあり、完全に防ぐことが難しい中で、前向きに取り組まれているように思う。

インスタグラムもフォローしている。写真付きの苑だよりで、分かりやすく苑の雰囲気を発信されているのもいいと思う。

管理者と民生児童委員の会話をみても、地域の方との関係も良いのだと安心できた。地域密着型の施設ということもあり、今後は施設職員以外の方と利用者様方との接点を多く持っていただくことを期待している。

地域 B 家族の健康チェックである程度リスクは減らせるが、検査をして発生を抑えることが一番いい。そのあたりはどうなっているか。

敬愛苑 体調不良者は早急に居室で過ごして頂く対応をしており、同意を得たのちに、簡易検査キットを利用し検査を行っている。必要に応じてPCR検査も行う。

職員も支給された簡易検査キットを個人で持っており、県外移動時や、体調不良時に自己検査を行っている。

五類移行に伴い、8月1日より会議室の開放を再開しようと考えている。条件としては、会食は遠慮して頂きたいことと、20時までで利用終了をお願いしたい。

地域 B それはうれしい。会合も再開することとなっており、さっそく利用させてもらいたく思う。参加者に健康チェックシートを配り、感染対策に配慮して実施したいと思う。ここはいざというときの避難場所としても認識しているのでよろしくをお願いしたい。

敬愛苑 避難先としてはボートの方をお願いしたい。避難先ということもあり、悪
天候でもボートピアは開催するようにしている。ある程度の非常食や水分は
確保している。(賞味期限令和6年400食あり)
以前のようにどうを運んでいただいてのどう打ち体験や、表演等も行って
頂けるようになることも願っている。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	☐
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	☐